

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：タイ王国

日付：2018年6月30日

報告書名：平成28年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

平成28年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

2018年6月30日

事業名	「タイ・ミャンマー国境の難民キャンプにおけるコミュニティ図書館を通じたノンフォーマル教育支援事業」 Non-formal education project through community libraries in the refugee camps along the Thai-Myanmar border		5 lines
事業対象地	タイ王国 ミャンマー国境9カ所の難民キャンプ		
事業期間	事業期間：2017年3月31日～2018年3月30日		
公的資金種別	平成28年度 日本NGO連携無償資金協力		
総支出・返還金	・総支出：35,154,691円（返還額：423,388円）		
プロジェクト目標および、その達成度	「難民キャンプの住民が読書推進活動を通じて、ライフスキルを身に着けるための知識と技術を習得している」ことを上位目標として事業を実施した。事業1年目に続き、コミュニティ図書館のサービスの向上、学校やコミュニティでの読書環境の整備を通して、難民キャンプの住民の図書へのアクセスが改善し、読書を通じた知識、技術の習得に貢献した。事業期間内に延べ414,116人が21館のコミュニティ図書館を利用し、さらに、研修を受けた教員244人、青年ボランティア192人が、各学校、92カ所のキャンプ内地区等で読書推進を行った結果、学生や地域住民の読書を通じた学習、情報収集の機会が増え、知識や技術の習得に繋がった。		～10 line
実施内容 概要	(ア) コミュニティへの図書サービス活動 26,506冊の成人向け図書を購入し、21館の図書館に配架し、子ども向けのタイ絵本を計1,280冊購入し、カレン語、ビルマ語の翻訳シールを貼り付けて、各図書館に配布した。また、図書へのアクセス拡充を目指し、移動図書箱を新たに22カ所の地区に配布した。さらに、図書館員を対象に図書館サービスの改善を目指した研修会を実施した。	受益者数 年間図書館利用者:延べ414,116人	2/3 page
	(イ) 学校教育の質の改善活動 学校教員を対象とした図書活用研修会をカレン系、カレニー系キャンプ含む9カ所で実施した。また学校教育における補助教材として使用可能な学習参考書をカレニー系キャンプ2カ所含む9カ所の難民キャンプに計3,595冊供与した。また、事業1年目に設備改善を行った28校の学校を対象にモニタリング活動を行った。		

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：タイ王国

日付：2018年6月30日

報告書名：平成28年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

	<p>(ウ) 青年による読書推進活動の実施</p> <p>各難民キャンプで青年ボランティアを対象とした育成研修会を実施した。研修後、青年ボランティアによる様々な読書推進活動が行われた。</p>	
成果	<p>(ア) コミュニティへの図書サービス活動</p> <p>活動を通じてコミュニティ全体において図書サービスが改善されている。各図書館の周辺に住む住民計219人へ聞き取りを行った結果、全ての住民から図書館の蔵書は住民のニーズに合致しているという回答を得た。また、図書館員を対象とした研修後のモニタリングでは、研修に参加した図書館員の93%については、研修で得た知識、技術を活用して、図書サービスを適切に実施していた。上記の活動を通じて図書館サービスの質が向上すると同時に、難民キャンプ住民のニーズに合った種類豊富な図書へアクセスできるようになるなど持続可能な開発を促進するために必要な知識や技能を習得することに繋がった。</p> <p>(イ) 学校教育の質の改善活動</p> <p>教育の質を改善するための補助教材や学習参考書を活用する環境が整備されている。学校教員を対象とした図書活用研修会後に実施した質問紙調査では、全体の79%以上が研修を通じて知識と技能を得ていることが分かった。供与された学習参考書は、各学校で利用されていることが観察を通じて確認され、ニーズ調査の結果93%の教員がニーズに合致した学習参考書があると回答した。学校図書室の設備改善を行った27校について観察調査した結果、約60%の学校で十分に整備されていることが確認できており、学生や教員が学習において図書を利用しやすい環境が整備されてきている。</p> <p>(ウ) 青年による読書推進活動の実施</p> <p>コミュニティでの読書推進活動への参加を通じて、青年が自主的に活動できる機会が増えている。研修後の質問紙調査では、全体として83.1%の参加者が知識と技能を習得していることが分かった。事業期間内の青年ボランティアが実施した週末の読み聞かせ活動の回数は、1地区あたり26回の実施となり指標を達成した。</p>	~1page
課題と対応策	<p>設備改善を行った学校図書室について、事業1年目と比較して、図書の整理が十分に行われていない図書室が増えており、教員数が限られている状況等図書の整備にまで手が回っていない状況があるとのことであった。事業3年目では、各学校の図書室利用のルールを尊重しながらも、学校教員、学生が使いやすい図書室を目指し、モニタリングを強化して具体的なアドバイスを行う。</p>	1/2